



だて正夢

普及センターホームページでは、稲作通信

登米地域の稲作通信 第3号

令和5年6月9日発行

宮城県米づくり推進登米地方本部

宮城県登米農業改良普及センター

Tel : 0220-22-6127



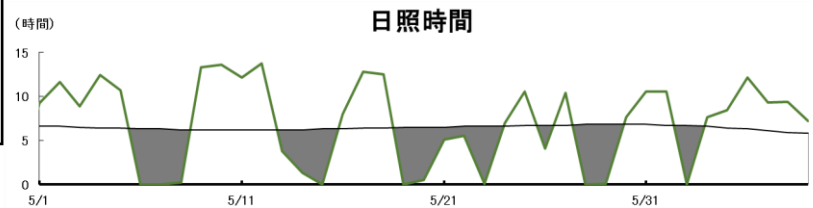
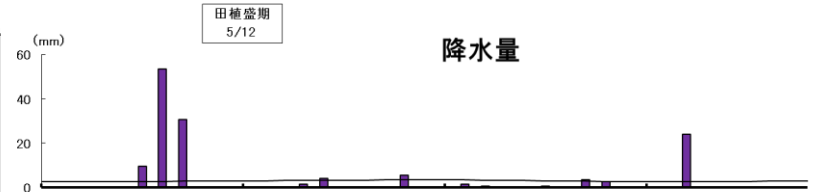
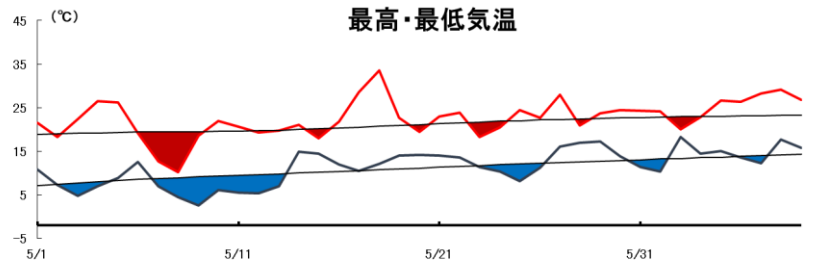
のバックナンバーもご覧いただけます → <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-n/>

【気象経過】

観測地点：米山アメダス

5月の平均気温は平年よりやや高く、積算降水量は平年の94%、日照時間は平年の105%となりました。

6月上旬の平均気温は平年より2.5℃高く、日照時間は平年の105%と多くなりました。



1か月予報（東北地方）6/10～7/9
＜令和5年6月8日 仙台管区気象台 発表＞

期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

向こう1か月は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

【移植栽培】

1 生育状況

【水稻生育調査結果(移植)】

No.	品 種	栽培タイプ	調査地点	栽植密度 (株/m ²)	田植月日 (平年差)	6月1日		6月10日		
						草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色 (GM)
1	ひとめぼれ	Cタイプ	南方町	15.2	5月18日 前年比・差 ±0日 平年比・差 +1日	22.6 108% 103%	87 120% 112%	30.7 115% 106%	141 165% 78%	32.6 3.7 -4.2
2	ひとめぼれ	Cタイプ	中田町	15.5	5月16日 前年比・差 +2日 平年比・差 -2日	25.5 122% 136%	68 79% 73%	26.5 97% 102%	132 139% 110%	37.3 8.0 4.7
3	ひとめぼれ	Cタイプ	登米町	16.1	5月16日 前年比・差 +6日 平年比・差 +3日	16.9 95% 95%	108 144% 130%	23.1 118% 95%	140 187% 109%	36.1 12.7 2.4
4	ササニシキ	Cタイプ (復活ササニシキ)	豊里町	15.8	5月12日 前年比・差 ±0日 平年比・差 +1日	26.3 100% 105%	71 135% 83%	28.2 90% 92%	153 309% 70%	38.6 6.2 -0.6
5	だて正夢	—	迫町	21.7	5月21日 前年比・差 +4日 平年比・差 +2日	17.8 81% 77%	102 97% 85%	26.6 94% 91%	148 118% 61%	31.3 2.5 -7.4
6	金のいぶき	—	登米町	19.5	5月9日 前年比・差 -5日 過去2か年平均比・差 -5日	28.1 112% 104%	101 104% 107%	29.4 99% 99%	248 178% 144%	39.6 6.7 2.8

※栽培タイプ

Cタイプ：農薬・化学肥料節減栽培（慣行栽培の5割減；農薬8成分，化学窒素成分3.5kg以下）

※平年値は、過去5か年（平成30年～令和4年）の平均値。

※金のいぶきは調査3年目のため、過去2か年の平均値を使用。

ひとめぼれ調査ほでは、草丈は前年または平年より長く、莖数は前年より多くなりました。田植が遅かったほ場で平年より莖数が少ない傾向が見られますが、概ね順調に生育しています。

2 今後の管理

(1) 水管理

莖数確保のため、水深2~3cmの浅水管理で分けつの発生を促しましょう。

ガスの発生が多いほ場では、一時落水して酸素を供給し、その後間断かん水を行きましょう。

目標莖数を確保したら中干しを開始します。近年、降雨等の影響もあって中干しの開始時期が遅くなっています。遅くても幼穂形成期（幼穂長1mm程度）までに終わるよう計画的に行いましょう。

なお、中干しを14日程度行うことで、グリーンな栽培体系（温室効果ガスの発生抑制が期待できる）となります。

品種別の有効莖数の目安

品種	㎡当たり莖数 (本/㎡)	1株当たり莖数(本)		
		50株植え	60株植え	70株植え
ひとめぼれ	410~460	27~30	23~25	19~22
ササニシキ	480~510	32~34	26~28	23~24
つや姫	400~440	26~29	22~24	19~21
だて正夢	350~400	23~27	19~22	17~19
金のいぶき	440~490	29~32	24~27	21~23
つきあかり	330~350	22~23	18~19	16~17

(2) 病害虫防除

いもち病対策

残苗（補植用苗）は本田でのいもち病の発生源となるので早急に処分しましょう。

★5月29日に広域的に葉いもち感染好適条件が出現しています。今後の天候の推移に注意しましょう。

アメダス資料による葉いもちの感染好適条件の出現状況 (BLASTAM 令和5年度)

日付	駒ノ湯	氣仙沼	川渡	築館	米山	志津川	古川	大衡	鹿島台	石巻	女川	新川	塩釜	仙台	白石	蔵王	亶理	丸森
5/20	-	△	-	△	△	△	-	△	-	-	-	△	△	△	○	△	-	○
5/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/23	△	△	-	-	△	△	-	-	△	-	△	△	△	-	△	△	△	△
5/24	-	△	-	△	△	△	△	△	△	-	-	△	△	△	△	△	△	△
5/25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/27	-	-	△	-	△	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/28	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5/29	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
5/30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	△	-	-
5/31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/2	-	-	-	△	-	-	△	△	-	-	-	△	△	△	△	-	-	-
6/3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	△	-	△
6/4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

●	好適条件	葉いもちの大量感染に好適な気象条件(葉面湿潤時間10時間以上、平均気温15~25℃、前5日間の平均気温20~25℃)が出現した日
○	準好適条件1	当日の条件は満たしているが、前5日間の平均気温が条件から外れている場合
△	準好適条件2	葉面湿潤時間の長さのみ好適条件を満たしている場合
-	好適条件なし	
?	判定不能	

(3) 雑草防除

本田内のノビエやイヌホタルイ等は斑点米カメムシ類を呼び寄せるので、除草に努めましょう。一般米で使える主な中・後期除草剤は、登米地域の稲作通信第2号を参照願います。

【直播栽培】

1 生育状況

【水稲生育調査結果(乾田直播)】

No.	品 種	栽培タイプ	調査地点	播種月日		苗立ち本数 (本/㎡)	6月10日	
							草丈 (cm)	莖数 (本/㎡)
1	ひとめぼれ	ブヲ耕 グレンドリル 体系	米山町 (中津山)	4月24日	前年比・差 97% 113%	174	22.5	181
2	ササニシキ	ブヲ耕 グレンドリル 体系	米山町 (中津山)	4月20日	前年比・差 141% 192%	113	26.9	113
3	つきあかり	ブヲ耕 グレンドリル 体系	豊里町 (鞆波)	4月24日	前年比・差 109% 96%	137	27.4	139

※平年値は、ひとめぼれは過去5か年(平成30年~令和4年)の平均値。

※ササニシキ、つきあかりは調査3年目なので過去2か年の平均値を使用。

いずれのほ場も、乾田直播栽培の目標苗立数 100~150 本/㎡に達しており、出芽は良好でした。

草丈は長い傾向で、莖数は、ひとめぼれ、つきあかりでは平年より少なくなりました。

2 今後の管理

(1) 水管理

莖数確保のため、水深2~3cmの浅水管理で分けつの発生を促しましょう。

(2) 病害虫防除

いもち病対策

いもち病対策の種子処理(塗抹処理)を行っていない場合は、水面施用剤を防除適期(6月末~7月初旬)に散布しましょう。

イネドロオイムシ対策

県病害虫防除所の発生予報第3号(令和5年5月29日発行)によると、イネドロオイムシの発生時期(ふ化盛期)は、平年よりやや早い6月第2半旬(6/6~6/10)となっています。発生量は平年並の予報です。

要防除密度は、産卵盛期(平年は6月第2半旬)の卵塊密度が100株当たり80個です。本年の防除適期は6月第2半旬と推定されていますので、例年発生が見られ、発生密度の高いほ場では速やかに防除を検討しましょう。

(3) 雑草対策

残った雑草の種類や生育状況を確認した上で、中・後期除草剤を適期に散布しましょう。

4月1日~6月30日は「春の農作業安全運動」期間です。余裕をもった作業で農作業事故を防ぎましょう。

6月~8月は「農薬危被害防止運動」期間です。農薬はラベルをよく読んで適正に使用しましょう。